

『撮って、食べて、社会課題解決へ』

日本大学 稲葉爽空

■解決したい社会問題

世界レベル

日本の食品ロスは年間523万トン
(農林水産省令和3年度統計)



世界の11人に1人が栄養不足
(2023年世界の食料安全保障と栄養の現状)

食品廃棄物の焼却処理によりCO2が排出
→地球温暖化促進により、発展途上国の農業活動への影響

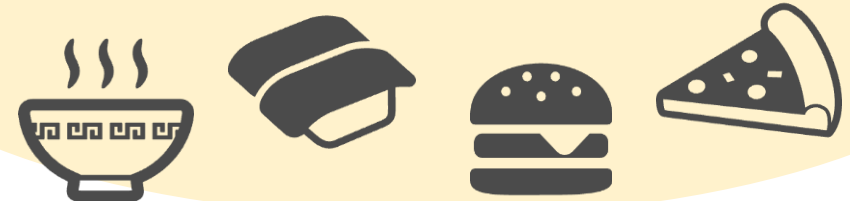


個人レベル

国際紛争による食料品の高騰



女性の社会進出による家事労働時間の減少
食の外部化による栄養の偏り

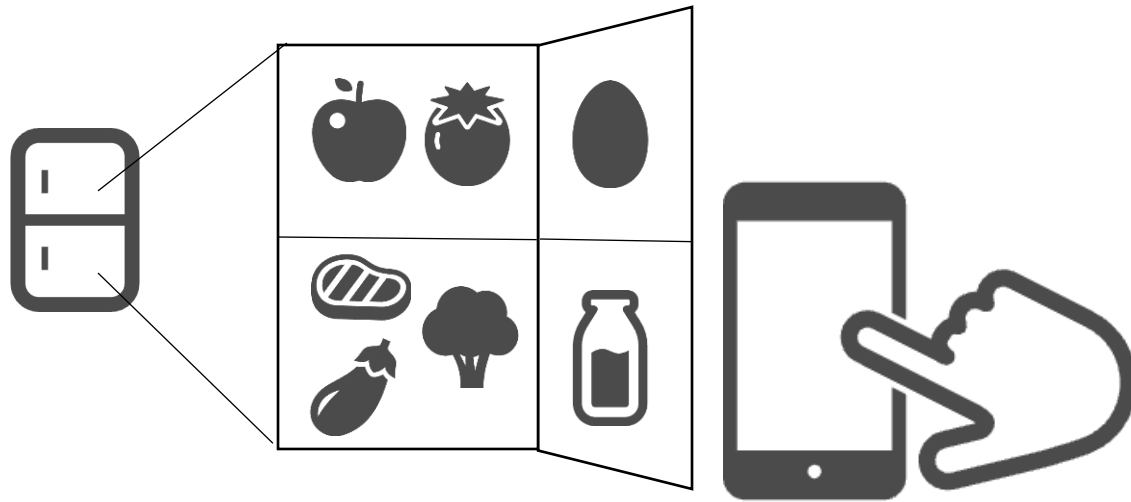


■目標

スマートフォンのカメラ機能やAIなどの最新技術を活用し、食品ロスをしないためのレシピや買い物リストを制作する。それにより、お金や時間の有効利用をできるようにする。加えて、食品ロスの削減により、社会問題が解決されていくこと。また、一人ひとりの社会問題を解決しようとする意識を向上させること。

スマートフォン活用方法

①冷蔵庫の中にある食材の写真を撮る



②AIが画像を解析し、
何通りかのレシピを提案する



③足りない食材で、買い物リストを作成
お店への距離、価格帯を表示する



調理後

完成品の投稿
→継続力

レシートの登録
→地域の価格帯を把握

SDGsメニューの考案
→社会問題への意識向上



ポイントが
貯まる



栄養不足を抱える
世界中の人々へ寄付

